

徳島県版リトルベビーハンドブックの作成について

○リトルベビーハンドブック（以下LBHという）とは

- ・ 低出生体重児（主に1500g未満で生まれた児）の成長を記録できる冊子。
- ・ 全国では、静岡県が当事者グループからの要望を基に作成し、2018年4月に運用が開始された。

○LBHが必要とされる理由

- ・ 従来の母子健康手帳は、1000g以上で生まれた児の成長しか記録できず、発達の目安として例示された月齢よりも成長が遅れることがあるため、家族は使いづらさを感じるとともに、精神的な負担にも繋がっていると指摘されている。
- ・ 小さく生まれた児は、入院中の記録や治療・薬の情報、緊急連絡先などの情報が多く、1冊に記録をまとめ、支援者が共有できることが望ましい。

○本県の取り組みについて

- ・ 平成25年NICU長期入院児在宅療養体制整備事業において、極低出生体重児（出生体重1500g未満）向けに、入院中の記録や成長発達・栄養の記録、入院や検査など退院後の医療記録、福祉制度やサービスの利用などが継続して記録できる「NICU入院時サポート連携手帳（以下連携手帳という）」を作成している。

○今後の方向性（お伺い）

- ・ 連携手帳を基盤とし、他県の冊子及び最新の知見を踏まえた内容を検討するとともに、対象者数が少ないことや情報が更新されることを鑑み、冊子のあり方（紙と電子の役割）も併せて検討することとする。
- ・ 協議の場として、周産期医療協議会を活用することとしてよろしいか。
（案）ワーキング部会を設置し、NICU関係者（医師、看護師・ソーシャルワーカー等）、母子保健関係者、当事者団体等を構成委員とし、協議のうえ令和5年度中の配布を目指す。

<参考>

○徳島県の出生数及び低出生体重児（内訳極低出生体重児（1500g未満））数

（人）	平成30年	令和元年	令和2年
出生数	4,998	4,554	4,521
低出生体重児数	425	333	389
1500g未満児数	23	30	29